



子ども探偵



2024.10.20

一般社団法人子どもアドボカシーセンター-KYOTO



まずは、子ども探偵を
お手伝いしてくれる

「子どもアドボケイト」
について学びます。

子どもアドボケイトは
子どものどんな気持ちも
大切にし、寄り添いながら
話を聴く人のことです。

子ども探偵を始める前に、
子どもたちは自分の意見や
気持ちを自由に言える権利
があることを学びました。





いよいよ子ども探偵の
 スタートです🔍
 たのしいこと、うれしいこと
 こわいことなど、お題が
 書かれたカードを使って
 自分の感じたことを
 自由に話し合います。

自分の感じた色々な
 気持ちを次は地図に
 マークしていきます📍
 南丹市やその周りの
 まちで気になるところ、
 大好きな場所、苦手な
 場所など、思い思いの
 場所を選びます。





気持ちを感じた場所を
現場カードに記入します📅
子どもアドボケイトの
サポートを受けながら、
子どもたちは一生懸命に
自分の気持ちを
書き込んでいました✎

最後に自分の気持ちを
自由に書き込んだ
紙飛行機を作り、
お宝と交換です🎁🍪
様々なミッションに挑戦し
自分が感じた色々な気持ち
と向き合う貴重な時間と
なりました。



参加者の方に感想を聞いてみました🎤



最初は緊張したけど、みんなと話せて楽しかった！



子ども探偵の間、大人対象のコミュニケーショントークに参加し、子どもの権利やアドボカシーについて学びました。子どもの声をしっかりと聴いてくれるような大人が増えたらいいなと思います。



参加した後の子どもたちの表情がいきいきとしていて、参加して良かったと感じています。また、他の地域の子どもたちと触れ合う機会がなかなかないので、こういった場があるととても嬉しいです。

\団体の方にお話を伺いました/

Q. 子ども探偵を実施して、いかがでしたか

前回から引き続き参加してくれる子どもたちもいて、とても嬉しかったです。

自分の気持ちを自由に出すことに最初は戸惑う子どもたちもありますが、

自分の気持ちが大切にされていると感じると、
子どもたちの目がキラキラするんです。

何を言ってもいいんだという空気感を感じてもらえたらいいなと思っています。

もっとたくさんの子どもたちに届くよう、
この活動を広げていきたいです。

11月10日（日）には、第3回目の子ども探偵を実施します。家族やお友達を誘って気軽に参加してほしいです。